

Hiroimi Miyakita, Sanae Kuroko, Sachiko Fujita, Hanako adachi
photo : ayako abe



NPO法人ダンスボックスが発行する、
小劇場<ArtTheater dB神戸>での、催し物案内誌

d.B. freak 01

Dance, Play, Music, Workshop, Event GUIDE 2011.8 - 9



表紙写真コンセプト：新長田で踊る人に会いに行く「新長田のダンス事情」と、ダンスボックスで踊る人が出会います。まずは各々の稽古場や発表の場へ尋ねあいました。

はじめまして。お邪魔します。

文:横堀ふみ

15:00 宮北さんと黒子さん、カメラマンの阿部さん、デザイナーの升田さん、「新長田のダンス事情(仮称)」パートナーの宮本さんが劇場に集合。約6年前に作成した「先輩・dB Freak」を見直す。「GUYSⅢ」の振付家達が登場して、「変わってない〜!」と一斉に盛り上がった。昔のチラシを見ると、その時へタイムスリップする時がある。なつかしいやら、時には恥ずかしいやら…。

16:15 全員で、神戸奄美会館へ。5分後に黒子さんが迷子に。あれれ!?

16:30 到着。藤田先生、生徒の皆さんの鮮やかな着物の色、大きな窓から差し込む柔らかな光。目の前がぱっと開けた第一印象。まずは生徒さんによる踊りを見せてもらう。一曲終りで、黒子・宮北さんから藤田先生に質問が飛ぶ。二人は新舞踊での立ち方のフォームに興味をもった模様。試してみたが、足の位置や、腰の按配、同じ高さを保ちながらすり足で歩くなど、なかなか難しいことが分かる。着物を着てみて、実感できることもあるのだろう。

16:50 奄美民謡を聞かせてもらう。踊る時の手の使い方も見せてもらう。きれいなフォームだった。新舞踊を見てもそう思ったが、日常生活の中で美しく見える立ち居振る舞いが振付になっているのでは。

16:55 最後に一曲、ソロを見せていただき、神戸奄美会館を

設立する際に寄付をされた方々の名札が並んでいる壁を背景に、記念撮影。

17:10 次は、ArtTheater dB神戸に向けて、全員移動。この間、藤田先生の舞踊の歴史を聞いた。踊り始めて30年以上。きっかけは奄美民謡で踊る会から。それから新舞踊を始めたとのこと。藤田教室として教え始めて20年以上。神戸奄美会館にずっと通っておられる。震災前の新長田のこと、いろいろ聞かせてもらう。

17:30 ArtTheater dB神戸に到着。まず始めにもう一度記念撮影。最後に、黒子・宮北さんの9月の上演作品の一部を見せてもらう。肌理のこまかい振付をユニゾンでダンス。その後、藤田教室のおさらい会に、踊り方はかえずに演歌で踊ってみたらどうか!と盛り上がる。それは面白いかも!

18:00過ぎ 本日の行程はすべて終了。藤田先生の何がきても動じないような心丈夫な立ち方と、何色にも変容しそうな黒子・宮北さんの透明感のあるダンスが、まず出会ってみたいところ。

◎新舞踊竹邑流 幸咲会(藤田教室)

JR「新長田」駅近くの「神戸奄美会館」にて、演歌で踊る新舞踊のお稽古場。ここには、ご本人か旦那さんが奄美大島や諸島のご出身の方々が、神戸・大阪等から通われています。月に一度、奄美民謡で踊る時間もあります。

◎黒子沙菜恵、宮北裕美

京都が拠点のお二人は、ふだんは個別に、ミュージシャンとのセッションや、子供や障がい者対象のワークショップ、海外のアーティストとの協働作業など、多岐にわたる活動を繰り広げています。

「私が出会ったダンスの達人」

文:大谷煥



私が小学校の1,2年の頃だったと思いますが、近くの神社の夏祭りに行った時のことです。絵馬堂に設えられた小さな舞台上、だんじり囃子にあわせて龍の踊りが踊られていました。この龍踊りは長崎などの人形を複数で踊らすものとは異なり、2本の指を立てて龍が天に昇っていく様子を模した踊りです。…ということは後年わかったことですが。

だんじり囃子によって数名の踊り手が順番に踊っていきます。けっこうダラダラした脱力系の踊りで、基本的には手(振り)の極端に少ない踊りです。

そのなかにひとり当時30歳前後と思われる若い男性の踊り手を発見。時には緩やかに時には激しく奏でられるお囃子に呼応するかたちで、序々に表情が恍惚となっていきます。お囃子が全て、彼の身体のなかに吸い込まれていくような感覚。無我の境地というのか、何か人ではないものが観客だけでなく、周囲の樹木、拝殿など風景まで呑み込んで踊っている。子供の私はすっ

かり魂を抜かれてしまい。家に帰ると早速、卓袱台を舞台に家族の前で踊ったのを覚えています。

それから25年後、国立文楽劇場の柿落しで、大きな船の舳先で踊る彼の姿を発見。動きはさらに無駄な力が抜けていて、存在が踊っているような感じで、更に感動。名前も知らない踊り手ですが、この人に出会ったことが私がダンスに関わることになった大きなきっかけだったと思っています。

「Studio dB Kobeレポート vol.1」

文:西岡樹里



初めまして。昨年10月、新長田駅から徒歩5分の地下に真っ赤なスタジオがオープン!ここでは、ジャズ・ヒップホップジャズ・フラ・カポエイラと様々なカルチャークラスが、地域の子供から大人までに愛され展開中。毎日、夢を追いかけるダンサーやたくさんの方々が無我夢中で稽古に励んでいます。そして今年6月、待望の「コンテンポラリーのためのクラス」が、素晴らしい講師陣と共に赤いスタジオで情熱的にスター

ト!BALLET・GAGA・CONTEMPORARYで踊るためのカラダ作りを早朝からしっかり学ぶ事ができます。対象はダンサー・ダンサーを目指す方・コンテンポラリーに興味がある方。ということは、参加条件は動けるレベルよりクラスに向かう気持ちなのかも。あと、情熱も。ああ暑い。今年の夏はスタジオも猛暑の予感。もお、こうなったらStudio dB Kobeで、おどらにゃ、そんな。

「dBコーディネイト事業」

文:橋本麻希

dBが新長田以外で行っているプロジェクトとして、堺市の国際障害者交流センタービッグ・アイで2001年から継続して「大阪府障害者芸術・文化オープンカレッジ」のダンスコースがあります。

この「大阪府障害者芸術・文化オープンカレッジ」ダンスコースでは、年8回のワークショップを行い、最終的には発表会を行い参加者全員が舞台上に立ちます。10年間継続してきたことでリピーターの参加者も多く、障がいを持つ方々の身体・気持ちを解放する貴重な場となっています。この「大阪府障害者芸術・文化オープンカレッジ」のダンスコースを経て、dB主催の循環プロジェクトに参加しダンサーとして活躍した人もいます!これからも継続していきたい事業です。(8月13、14日、9月24日、10月1、8、9、22、23日)

DANCE BOXとは

DANCE BOXを直訳すると「踊るハコ」。ハコには、劇場空間としての「ハコ」や、「ハコ」を開けるといろんなダンスが飛び出してくる、そんなイメージを込めています。1996年に、大阪で始動してから、関西、国内各地、そして世界各地の振付家やダンサー、のべ300名以上が踊ってきました。2002年にNPO法人化し、2009年に大阪から新長田/神戸に拠点を移しました。120席の劇場[ArtTheater dB神戸]と、ダンススタジオ[Studio dB KOBE]をベースに、舞台芸術(おもにダンス)を「つくる」「上演する」「出会う」「何か始まる」現場が、劇場や新長田の街中で、いつも起こっているような状況となることを目指しています。主な活動の柱は、[1]国や地域を越えて、現代社会で生まれている同時代のダンスを紹介するプログラム、[2]アーティストによる実験・実践・鍛錬の場となるプログラム、[3]アーティストが新長田に滞在しながら、ダンスや演劇等の作品を創作するプログラム、[4]劇場を飛び出して、ダンスのもつ力を発見し、活かし、発信するプログラム、です。

2011年度 主催 / 提携事業

- 4月 ・ArtTheater dB神戸付属 神戸市民劇団vintage 春興行
・DANCE BOX国際交流基金 地球市民賞 受賞報告会 & Dance Live in KOBE #1
- 5月 ・K-ACDF関連企画 Case Studies #1 アジアのフェスティバル
・竹之内淳志 舞踏公演【共催】
- 6月 ・音遊びの会【提携】
・日野晃 Real Contact公演【提携】
・K-ACDF関連企画 「Asia Interactive Research」 関西支部 始めましての回
- 7月 ・双子の未亡人 ダンス公演【提携】

- 7月 ・山田うん 夏の合宿 7日間
・DANCE BOXレジデント・アーティスト 川崎歩
- 8月 ・身体表現講座 夏塾
・Ran Slavin Sound and Film Live
・新長田から新しいメディアをつくらう
- 9月 ・<UWL>黒子沙菜恵、宮北裕美
- 10月 ・panem et circenses ダンス公演【提携】
- 11月 ・大阪滞在制作シリーズ by ジェコ・シオンボ
・<UWL>南弓子
・ArtTheater dB神戸付属 神戸市民劇団vintage 秋興行
- 12月 ・モノクローム・サーカス ダンス公演【提携】

- 12月 ・DANCE BOXレジデント・アーティスト 浅野泰生
 - 1月 ・Revival/北村成美
・Dance Circus KOBE #3
 - 2月 ・KOBE-Asia Contemporary Dance Festival #2
 - 3月 ・<UWL>山田知美
- ※K-ACDF…KOBE-Asia Contemporary Dance Festival
※UWL…Under the Worklight(作業灯のもとで)
- 平成23年度神戸市パートナーシップ活動助成
助成: 観文化・芸術による福地地域振興財団
Asahiアサヒビール芸術文化財団
イスラエル大使館

企画制作:NPO法人DANCE BOX/ プロデューサー:大谷煥/ 事務局長:文/ プログラム・ディレクター:横堀ふみ/ スタッフ:己斐緑、西岡樹里、田中幸恵/ 舞台:大田和司、難波麻春/ 照明:三浦あさ子、岸田緑、森田智子、坂本幸子、茂木紀恵/ 音響:秘魔神/ 記録映像:鍛冶川一夫、井上大志/ 記録写真:阿部綾子/ グラフィック制作:升田学/ WEB制作:内山大/ dB freak 編集補佐:橋本麻希

■NPO DANCE BOX / ArtTheater dB 神戸
〒653-0041 神戸市長田区久保町6丁目1番アスタくにつか4番館4階
TEL: 078-646-7044 FAX: 078-646-7045

■Studio dB Kobe
〒653-0037 神戸市長田区大橋町5-3-1 アスタプラザイースト地下1階
TEL: 078-742-7220

■ArtTheater dB 神戸へのアクセス
◎JR新長田駅より徒歩8分
>> JR三ノ宮駅から新長田駅まで9分
>> JR大阪駅から新長田駅まで30分
(新快速をご利用、神戸駅にて普通電車で乗換え)
◎地下鉄駒ヶ林駅より徒歩3分
大正筋商店街、アスタくにつか4番館4階



チケット予約

Tel: 078-646-7044 Fax: 078-646-7045

Mail: info@db-dancebox.org

Web: http://www.db-dancebox.org/

